

平成 28 年度静岡県連合支部総会報告

平成 28 年度の静岡県連合支部総会が 10 月 22 日（土）静岡市のグランドホテル中島屋で開催されました。

本年度は群馬大学の平塚学長をメインゲストとしてお迎えするというので、当初はかなりの参加予定者があったが、ご多分に漏れず年配の方が多く、直前になって体調不良や身内の不幸等々で思ったより参加者が少なくなった中での開催であった。

総会は菊地東部支部長の司会の下、冒頭に連合支部長の挨拶で始まり、次いでご来賓の平塚群馬大学長、関群馬大学理工学府副府長、関根群馬大学工業会副理事長のご挨拶を賜った。次いで過去 1 年の静岡県連合支部の活動状況と今後の予定が連合支部長より報告されたが、静岡県連合支部が設立された以降年年総会への出席者が減少しており、連合支部として非常に危機的状況のある事が力説され、今後いかにあるべきか、また何をなすべきかについて検討を行っていく旨の説明がなされた。

総会終了後、本日のメインテーマである平塚学長のご講演が「群馬大学を取り巻く状況と課題」とのタイトルで行われた。平塚学長の微に入り、際にわたるご説明で予定時間をオーバーする位のご講演であった。



講演終了後記念撮影し、会場を移して懇親会開催となった。懇親会は斉藤中部支部長の司会の下、西山連合副支部長の開会の辞で始まり、池谷大先輩の乾杯でスタートした。途中高齢の 3 分間スピーチを挟み、その中で関理工学副府長より若い人をこのような会に参加させるため、またメールにかわる手立てとして SNS や FaceBook の利用をとの貴重なご提案も戴いた。また平塚学長には同期の仲間が 3 名おり久しぶりにのんびりとお時間を過ごしていただく事ができた。菊地東部支部長の発声の下全員肩組み合って「関東八州」を大斉唱し、豊島先輩の一本締め、連合支部長の閉会の辞で、また来年の再会を約しながら楽しかった総会も無事終了した。

文責 坂本連合支部長

